

株式会社 VisionWedge

第 4 期

貸 借 対 照 表

(2022年 4 月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	37,027	流 動 負 債	115,405
現 金 及 び 預 金	10,498	買 掛 金	3
売 掛 金	6,317	未 払 金	110,857
商 貯 蔵 品	15,673	未 払 法 人 税 等	180
前 払 費 用	1,718	未 払 費 用	735
そ の 他	2,686	そ の 他	3,628
	133		
固 定 資 産	577	負 債 合 計	115,405
投 資 そ の 他 の 資 産	577	(純 資 産 の 部)	
長 期 前 払 費 用	577	株 主 資 本	△ 77,799
		資 本 金	10,000
		資 本 剰 余 金	10,000
		資 本 準 備 金	10,000
		利 益 剰 余 金	△ 97,799
		そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 97,799
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 97,799
		純 資 産 合 計	△ 77,799
資 産 合 計	37,605	負 債 ・ 純 資 産 合 計	37,605

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有する棚卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商 品 …………… 総平均法による原価法

(2) 引当金の計上基準

賞 与 引 当 金…………… 従業員に対する賞与の支給に充てるため、
当事業年度末までに支給額が確定していな
い従業員賞与の支給見込額のうち、当事業
年度に負担すべき額を計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

当社の主要な事業内容はメガネ卸売り、サングラス卸売り及び補聴器卸売りであり、商品の販売については、商品の引渡し時点において顧客が当該商品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されることから、当該商品の引渡し時点で収益を認識しております。

履行義務に対する対価は、商品の引渡し前、もしくは商品の引渡し時に受領するか、履行義務の充足後、遅滞なく受領しており、重要な金融要素はありません。

2. 当期純損益

△5,447千円